

目 次

第 1 章 座標平面に関する基礎事項	13
1.1 座標平面上の点	14
1.1.1 直交座標	14
1.1.2 2 点間の距離	16
1.1.3 内分点と外分点	17
1.2 直線の傾き	21
第 2 章 図形と方程式	23
2.1 図形を表す方程式	24
2.1.1 図形を表す方程式 — 図形の式 — とは	24
2.1.2 2 つの図形の共有点	28
2.2 直線の方程式	30
2.2.1 直線の方程式を作る	30
2.2.2 1 次方程式 $ax + by + c = 0$ と直線	34
2.2.3 2 直線の関係	38
2.2.4 垂線の足と対称点	46
2.2.5 点と直線の距離	52
2.2.6 2 直線のなす角	58
2.2.7 2 次関数のグラフと直線	60
2.2.8 直線上の 2 点間の距離	65
2.3 円の方程式	68
2.3.1 円の方程式を作る	68
2.3.2 円の接線の方程式	72
2.3.3 極と極線 (#)	75
2.3.4 円と直線の関係	78
2.3.5 2 つの円の関係	80
2.4 図形の移動と方程式	82

2.4.1 平行移動	82
2.4.2 拡大と縮小	86
2.4.3 対称移動	88
2.4.4 絶対値記号のついた方程式で表される図形	90
2.5 曲線束	103
第3章 不等式と図形	117
3.1 $y > f(x)$ が表す領域	118
3.2 $f(x, y) > 0$ で表される領域	124
3.3 正領域・負領域	131
3.4 $f(x, y)g(x, y) > 0$ で表される領域	134
3.5 不等式と同値変形	137
3.6 方程式・不等式の解の存在条件、関数の値域への応用	143
第4章 軌跡	155
4.1 軌跡とは	156
4.1.1 具体例から	156
4.1.2 軌跡の定義	157
4.2 点の軌跡	159
4.2.1 「軌跡の求め方1」による方法	159
4.2.2 「軌跡の求め方2」による方法	162
4.2.3 実践編	168
4.3 図形の通過範囲	185
第5章 平面図形と立体図形	199
5.1 平面図形に関する基本事項	200
5.1.1 角に関すること	200
5.1.2 三角形に関すること	201
5.1.3 平行四辺形に関すること	202
5.1.4 円に関すること	203
5.1.5 作図	208
5.2 三角形に関する話題	211
5.2.1 三角形の五心	211
5.2.2 三角形に関する諸定理	221
5.3 円に関する問題	230
5.4 立体図形	235

5.4.1 空間内の直線と平面	235
5.4.2 オイラーの多面体定理	237
5.4.3 正四面体に関する話題	240
5.4.4 等面四面体	245
5.4.5 正多面体と埋め込み	246
付録 A 本編を理解するために	249
A.1 座標平面に関する基礎用語	250
A.1.1 数直線上の区間	250
A.1.2 平面上の領域とその周辺	250
A.2 写像	255
A.2.1 写像の定義	255
A.2.2 いろいろな写像	257
A.3 平面幾何の基礎の確認	260
A.3.1 角の二等分線の性質	260
A.3.2 三角形の辺の大小と角の大小	262
A.3.3 中線定理	264
A.3.4 円周角の定理とその逆	265
A.3.5 円に内接する四角形	269
A.3.6 接弦定理	270
A.3.7 方べきの定理	272
付録 B 発展編	275
B.1 軌跡を求めるときの考え方	276
B.2 記号に関する準備	279
B.2.1 基本的な記号の説明	279
B.2.2 論理記号を含む法則	281
B.3 軌跡の問題を振り返る	282
B.4 方べきの定理に関する補足	287
付録 C 未来の研究者のために	289
C.1 ラングレーの問題について	290
C.1.1 ラングレーの問題とは	290
C.1.2 初等幾何による解法	291
C.1.3 三角関数を用いた解法	293
C.2 三角形の心	295

C.2.1 フェルマー点	295
C.2.2 その他の三角形の心	302
C.3 オイラーの多面体定理の説明	305
問い合わせの解答	309